

認知症に関する活動計画（概要）

滋賀県作業療法士会では、昨年度に引き続き、認知症の人と家族の会との連携を中心に活動していきます。また、あわせて認知症にかかわる作業療法士の交流会により、顔の見える関係づくりと、様々な領域で認知症に関わる作業療法士が課題、情報を共有して認知症支援に関わることができることを目標にします。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

士会単独のイベントはありません。認知症の人と家族の会主催の世界アルツハイマーデー ライトアップ、記念講演会、メモリーウォークの啓発イベントでは、可能な範囲で協力していきます。（写真は2020年度の彦根城、今年は県庁ライトアップの予定です）



認知症の人と家族の会との連携事業

一昨年度からの事業、若年認知症のつどい「LEAP」を共催で開催します。毎月1回のオンライン交流会、LINEチャットを利用した集いです。今年度はより多くの方に知ってもらうため、その他の家族の会との共同イベントで対面での集い、音楽鑑賞や映画鑑賞、作業活動を取り入れたイベントを開催予定です。

（写真はオンライン交流会で知り合った他県の当事者の方の集まりに参加させてもらった様子です。）

今年度は認知症と人と家族の会 滋賀支部で家族支援プログラムが開催されるため、1講座を作業療法士が担当する予定です。世界アルツハイマーデーイベントなどにも、協力予定。



認知症に関わる作業療法士の交流会

認知症に関わるOTがつながることで、交流会では、作業療法士同士の顔の見える関係づくり、地域だけでなくまだまだ課題の大きい施設や病院の作業療法士も含め、様々な領域で認知症に関わる作業療法士が課題、情報を共有して認知症支援に関わることができることを目標にします。

また、認知症の人と家族の会との連携協力士会員を増やし、士会員自身の地域実践の場につなげていきたいと考えています。